



進路指導部主任より



各学年も終わりの時期が近づいてきました。そこで、今回は3学期に実施した「1年小論文講座」と「2年志望理由書講座」を特集します。これらはいずれも次の学年、さらには将来の自分の進路選択を明確にするための進路行事です。

また、卒業まであと数日となった3年生には先月末に進路アンケートを実施しました。その中で「進路を本格的に考えるようになったのはいつですか」という質問をしたところ、「1年生で」と回答したのは34名、「2年生で」と回答したのは28名でした。また、自分の進路に「満足している」と回答したのは230名、「まあまあ満足している」と回答したのは84名でした。なお、これには一般選抜に挑戦している生徒が回答できていないので、あくまでもこれは参考値です。1,2年生の君たちが3年生のこの時期に全員が自分の進路先に「満足している」と回答できるように「今」やるべきことを明確化し、前進していきましょう。



1 学年小論文講座(2)・小論文リピート

1月11日(水)に1年生の小論文講座(2)を実施しました。まず、意見提示型と問題解決型の2種類の小論文の書き方を復習しました。そのうえで、駒澤大学や慶應義塾大学の入試問題を紹介していただき、今回学んだ小論文の書き方で十分勝負できる答案を書けること、さらに得点につながる書き方のポイントをご教授いただき、生徒の意欲はどんどん高まっていくのが感じられました。その後、11月30日(水)に実施した小論文テストの優秀答案をもとに、全体の講評をいただきました。どの答案もしっかりとした構成となっており、自分の考え・意見を的確に伝えていました。他の人の答案に触れることは、自分の視野を広げるよい機会になったと思います。最後に、受験する大学の過去問を研究すること、自分の清書にかかる時間を計測しておくことの2点は今からできる入試準備であるとのこと。目標とする大学が決まり次第、早めに動いていきたいですね。

1月18日(水)には小論文リピートを実施しました。11月30日(水)に実施した小論文テストの添削答案および小論文講座を通して、より完成度の高い小論文へと仕上げていきました。前回の答案と今回のリピートの答案を比較しての添削をいただきます。このように、国語の授業に加えて外部のトレーニングを積むことにより、相手の主張を把握し、自分の考えを的確に伝える術を磨いていくとともに、社会において欠かせないコミュニケーション力のアップにつなげていきたいと考えています。



2 学年志望理由書講座

<これまでの取り組み>

冬季課題：自分の過去の体験や将来の目標、その目標の社会的意義などを考え、志望理由書完成ノートに記入する。

1月11日(水)：書き上げた内容をもとに、他人に伝わりやすい志望理由書の書き方を動画にて学習。

1月18日(水)：800字の志望理由書の模試を受験。

2月15日(水)：前回提出した志望理由書を添削して貰い、それをもとに二度目の模試を受験。

志望理由書は必ずしも全員が受験する際に要る訳ではありません。しかし、志望理由書を書く過程で自分のこれまでの活動や目標を振り返り、新しい発見をしたり、過去の自分には理解できなかった記憶の書き換えが起こったりします。そのため、この講座を通して志望校が決まったという生徒が毎年何人も出てきます。また、3年生に一旦なってしまうと、自分の弱点克服や受験準備で手一杯になり、いざ志望理由書が必要になってもその対策をしている時間をとるのは難しいのが現状です。志望理由書の講座が2年生のこの時期にあるのはこのような理由があるからなのです。



次号予告

次号の鶴進では「総合型・学校推薦型選抜合格者報告会、一般選抜合格者報告会」について取り上げる予定です！